

重点施策について

施政方針で施政運営の3つの基本的な考え方を伝えたいとしました。その考え方に重点施策をご紹介します。

①物価高騰などからの地域経済の回復

●がんばってふるさと応援基金
推進事業
10億218万5千円

ふるさと納税の制度を活用し、市外からの寄附金(外貨)の獲得と返礼品の需要による地場産業の振興を図り、寄附金20億円を旨指します。

②人口減少対策の取組強化

●申間市結婚新生活支援事業
600万円

新たに婚姻した世帯に対し、住居費および引っ越し費用の一部を支援し、新生活における経済的負担の軽減を図ることで、少子化対策や移住定住を推進します。

▽補助上限額30万円(30万円×20世帯=600万円)

●不妊治療費助成事業
199万6千円

不妊治療などにかかる経済的負担を軽減するため、治療費および検査費の一部助成を行います。

▽助成上限額
検査費:3万円、保険適用治療費:10万円、不育症治療:1回あたり4万円

●新 妊産婦健診通院支援事業
288万円

市内に出産できる施設がなく、健診施設が少ないことで生じる負担を軽減するため、妊産婦健診通院に係る交通費について、健診受診回数と受診した医療機関の場所に応じた額を助成します。

▽助成上限額3万2千円(300回×2,000円×16回)

③持続可能な魅力あるまちづくり

●申間市消防庁舎整備事業
3億960万9千円

洪水浸水想定区域内にある現消防庁舎を安全な高台に移転し、市民の生命・財産を守るため整備します。令和5年度に用地取得および設計業務を実施し、令和6~7年度(2カ年)で消防庁舎建設工事を行います。

●新 申間市民総合体育館施設改修事業
2億6,106万6千円

申間市民総合体育館の床改修およびLED化などの工事を行います。

●新 福島小学校長寿命化改良事業
1億8,379万1千円

申間市学校施設等長寿命化計画に基づき、福島小学校において、現存する施設を有効利用する長寿命化改良工事を行います。



●新 就学前教育・保育施設整備事業
2億8,346万8千円

子どもを安心して育てることができるよう、保育所または認定こども園の施設整備を行う者に対し、補助金を交付します(対象施設:南さくら幼児連携型認定こども園)。

●公営住宅整備事業
6億7,149万7千円

安心安全な住環境の提供を行うため、建築後50年を超え、老朽化した市営あさひが丘住宅の建て替えを行い、周辺の老朽した公営住宅からの移転先として整備します。

●100歳健康づくり推進事業
875万7千円

健康づくり活動に取り組み市民を増やすため、森林資源を活用した健康運動に取り組むほか、食の面から市民の健康づくりをサポートするため、申間市食生活改善推進協議会へ補助します。



70周年記念事業

市制施行70周年を記念して、市民と行政が一体となった記念事業を行います。詳細は次号でご紹介します。

市民参加型事業

●新SDGs推進事業
22万円

●新じい・ばあ・ちびっこふれあい運動会
36万6千円

●新教育・保育施設絵画展
27万2千円

●新三大イベント推進事業
1,709万円

節目を記念する事業

●新申間市制施行70周年記念式典事業
380万2千円

●新くしまPR大使招へい事業
246万7千円

●新新聞紙面特集PR事業
60万5千円

●新記念誌作成事業
58万円

これまで市民とともに築き上げてきたまちづくりの成果を尊重しながら、今後も市民と一体となり持続可能な未来へと進んでいくための活力へつなげます！

魅力あるまちづくり事業

ふるさと納税寄附金の一部を、地場産業者の育成、市民の所得向上などに活用し、魅力あるまちづくりにつなげます。

地場産業者の育成 市民所得の向上

●優良繁殖雌牛保留対策事業
900万円

●新育成牛導入支援事業
600万円

●経営パトナタッチ推進事業
150万円

●企業支援プロジェクト事業
1,050万円

魅力あるまちなぎ (人口・雇用・子育て・地方創生)

●新3世代活躍定住支援事業
120万円

●新くしまの魅力伝える保育体験事業(関係人口創出)
836万9千円

●新奨学金返還支援事業
120万円

●新移住者向け住宅改修等支援事業
100万円

●新若手保育士等確保支援事業
397万6千円

●新申間市店舗等活性化支援事業
190万円

- 関係人口
- 若者支援
- 移住支援
- 保育支援
- 雇用創出
- 牛保留
- 繁殖促進
- 事業継承
- 企業支援
- 朝市改革
- 同居支援

ふるさと納税返礼品の魅力向上と
地方創生の推進により
「魅力あるまち」に！

